社会的責任と貢献活動

●地方自治体・関係団体等への協力

当会は、地域金融機関として、国税・地方税の収納をはじめ、県指定代理・高松市収納代理金融機関としての役割を果たす一方、各種年金受取や各種公共料金等の口座振替、給振・財形の元受機関、国民年金保険料の収納事務などの業務を行っています。

●ポスターコンクール

当会は、小学生たちが農作業をしている家族や農業にかかわる人々をモチーフに描写することを通じて農業に関心をもち、自然を大切にする心を育んでくれることを願って、県下の小学生を対象に、毎年「貯蓄に関するポスターコンクール」を実施しています。この取組みも令和７年度で58回を数え、県下の小学校109校から1,335点もの作品の応募がありました。厳正な審査の結果、入選作品50点を選定しました。

令和７年度「貯蓄に関するポスターコンクール」
ＪＡ香川信連理事長賞　後藤　輝さんの作品

●食の安全・安心への取組み支援

当会は、ＪＡグループが行う安全・安心な食料を地域社会に安定的に供給し、健康で豊かな人間性を育む健全な食生活を支えていく事業に参画するとともに、地域農業の振興と発展を目的とした農業担い手育成・対策事業にも取組支援をしています。

●環境美化活動

当会の環境美化活動に対する自主的な取組みとして、職員によるＪＡビル周辺の清掃を行っています。

●環境保全への取組み

当会は、地球温暖化防止に向け、温室効果ガス削減のために、「クールビズ」および「ウォームビズ」を実施しています。

また、森林資源の有効活用としてコピー用紙は、ＦＳＣ認証紙を使用しています。

さらに、CO_2排出量を少しでも抑制するため、環境にやさしいハイブリッド車も導入しています。

●地球にやさしいオフィス登録

ゴミの減量・資源化に取組んでいる当会は、高松市が募集する「地球にやさしいオフィス」に登録され、その実績を通して地球環境の保全に努めています。

●日本赤十字社の献血への参加

ＪＡバンク香川では、地域社会の一員として、当会をはじめとするＪＡグループ役職員による献血を随時実施しており、当会は「献血サポーター」にも登録され、献血に協力することとしています。

●エコ・キャップ、プルタブ回収活動

当会は、ペットボトルキャップの回収活動を通じて支援事業団体に協力する“エコキャップ回収活動”に賛同し、協力しています。また、車椅子を贈呈する“プルタブ回収活動”に賛同し、全役職員で取組んでいます。

●使用済み切手・外国コイン回収運動への協力

当会は、県内の協同組合が連携して取組む社会貢献活動として、かがわ協同組合連絡協議会が行う使用済み切手および外国コイン回収活動へ協力しています。令和６年度は、使用済み切手を累計65g回収して、香川県ユニセフ協会へ贈呈しました。

●「健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）」事業所の認定

当会は、平成28年８月から取扱いが開始された「事業所まるごと健康宣言」に参画し、平成29年度に「健康経営取組事務所」として認定されています。

平成30年度より日本健康会議による認定制度である「健康経営優良法人」の取組みに参画し、令和７年度についても引き続き「健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）」に認定されています。

トピックス（TOPICS）

●機動的な対応が可能となる組織体制

令和６年12月に開催された第17回香川県ＪＡ大会において決議された「香川県ＪＡグループの重点取り組み事項」に基づき、当会は、情勢の変化をふまえた機動的な対応が可能となる組織体制の整備を進めています。また、ＪＡグループとして最大の機能を組合員に対して発揮できるよう、グループ組織間の一層の人事交流をすすめるとともに、機能分担の最適化や一体的な運営に努めています。

●経営力の強化と人材育成の取組み

当会は、社会的責任と公共的使命を果たし地域社会から信頼を確立するために、毎年度、当会ならびに県内ＪＡの役員、幹部職員を対象にコンプライアンス研修会を開催するなど、コンプライアンスの実践に役職員一丸となって取組んでいます。

さらに、『人事管理の基本方針』等に基づき、人材育成にも積極的に取組んでおり、「階層別研修会」をはじめ、役職員の健康管理に関する「衛生講習会」等を開催するなど、あらゆる機会を通じて経営力の強化と人材育成に取組み、役職員の総合力発揮を目指しています。

●信用事業推進研修会

ＪＡバンク香川中期戦略（2025～2027 年度）では、組合員・利用者の目線にたったサービス・体験を提供する「つながり強化戦略」を重視しており、「組合員・利用者の豊かなくらしの実現に向けたライフプランサポートの実践により相談されるＪＡ」を目指して、標記研修会を開催しました。

研修会では講師による説明をもとに、参加職員がディスカッションやロールプレイングを実施することで、組合員・利用者の生活資金ニーズおよび資産形成・運用ニーズに応えることを目指しています。